

## 新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。  
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



### 項目名

- API2/MALT1 (依頼コード No.1751・57107)
- MYC(8q24 転座) (依頼コード No.1752・57108)

※弊社システムの都合により4桁と5桁のコードNo.があります。

受託開始日 2016年4月1日(金) 受付分より

API2/MALT1は、t(11;18)(q21;q21)転座をFISH法により検出する検査であり、この転座はMALT (mucosa-associated lymphoid tissue) リンパ腫に高頻度にみられ、なかでも胃MALTリンパ腫では15～25%に認められます。胃MALTリンパ腫におけるピロリ菌の感染頻度は90%以上で、本菌の除菌治療は治療法の第一選択ではありますが、t(11;18)転座を有する場合は不応性とされており、治療効果の予測因子として有用と考えられます。なお、ヒト遺伝子解析機構(HUGO)による遺伝子名では、API2遺伝子の名称はBIRC3に変更されておりますが、検査名称は現在でも広く用いられているAPI2としております。

MYC(8q24転座)は、主としてパーキットリンパ腫の約80%に認められるt(8;14)(q24.1;q32)の他、垂型としてt(2;8)(p11.2;q24.1)、t(8;22)(q24.1;q11.2)があり、これらは急性Bリンパ性白血病や多発性骨髄腫にも認められます。また、Tリンパ性白血病ではt(8;14)(q24.1;q11.2)がみられます。

従来から受託しておりますIgH/MYC(t(8;14)転座)でも、8q24部位での切断は赤シグナル数の増加として検出可能ですが、本プローブではMYC遺伝子を挟んでその両側に赤と緑のシグナルが配置されていますので、より明確に8q24部位の分断を検出することができます。

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3  
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1  
☎ 049(232)3131 FAX 049(232)3132

検査項目検索用  
アプリ B-Book



Google play



Available on the  
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis  
Medical Station

## 受託要領

検査項目名	API2/MALT1	MYC(8q24転座)
依頼コードNo.	1751・57107	1752・57108
統一コード	8B416-0000-019-841	8B383-0000-019-841
検体必要量	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度	血液(ヘパリン加血) 3.0mL 骨髄液 0.5mL リンパ節 5mm角程度
容器	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 B-23	血液 B-18 骨髄液 X-2 リンパ節 B-23
検体の保存方法	冷蔵(凍結不可)	冷蔵(凍結不可)
所要日数	5～10	5～10
検査方法	FISH法	FISH法
検査実施料/判断料	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)	2730+(分染法加算397)点/ 125点(血液学的検査)

※骨髄液の採取について

穿刺の前に注射器管内をヘパリンで潤した後、ヘパリンを完全に排出。

穿刺液は採取後空気を入れてゆっくり転倒混和し、専用容器(培養液入り)に約0.5mL入れ、ゆるやかに転倒混和して冷蔵保存。雑菌等が混入しないようお願いいたします。

【検査方法の参考文献】 稲澤 謙治: FISH 実験プロトコール, 128-136, 1994. (秀潤社)